

本会議の様子

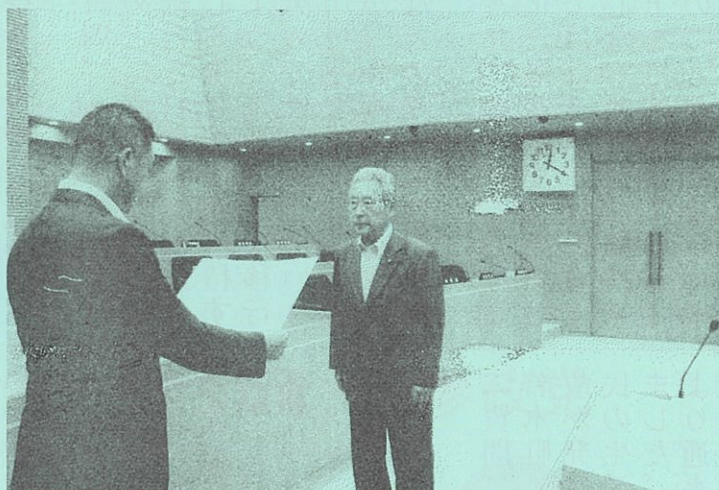
第2回定例会

第2回定例会は、6月18日から21日までの4日間の日程で開催され、令和6年度各会計補正予算案、条例改正案などの議案10件の審議を行いました。審議の結果、全ての議案が全会一致で可決となりました。この他に株式会社赤平振興公社の経営状況についての報告を報告しました。また、意見書案4件の審議を行い、可決となりました。一般質問は、20日に5名、21日に2名が行いました。(内容は3ページ以降に抜粋を掲載しました。)

あかびら市議会

かわら版

No. 72



全国市議会議長会表彰

市議会議員として、長きに亘り地方自治の発展と振興に貢献された功績により、全国市議会議長会会長から永年勤続25年表彰として、若山武信議員が表彰され、竹村議長から伝達されました。



一般質問

無所属クラブ



木村 恵

物価高騰支援について

【質問】物価高騰と併せて電気代やガス代の値上げも加わり事業者への影響が大きい。市内事業者の現状を把握し支援策を講じる必要があるのではないかと、考えを伺う。

【答弁】国や道の支援策など情報の収集、提供をしながら、定額減税や給付金、スーパープレミアム商品券などにより一時的負担軽減につながればと考えている。

【質問】帯状疱疹は、80歳までに3人に1人が発症すると言われ、対処が遅れると長期にわたって痛みが消えないこともあるという。予防や対処についての認識を伺う。

【答弁】予防としては免疫力の低下を防ぐため生活習慣を見直すことや、任意の予防接種がある。対処については、基本的には抗ウイルス薬での治療となるが、発症早期に治療するほど効果が高いということから、症状がある方は早めに医療機関を受診することが大切。今後は帯状疱疹についても市民周知していきたい。

【質問】予防の一つとしてワクチン接種があるが、接種費用が高いことから自治体によっては接種費用の助成を行っている。赤平市でも助成してはどうかと思うが、考えを伺う。

【答弁】現在、帯状疱疹ワクチンは予防接種法上任意接種であり、その費用対効果については中立的な機関による評価が必要となっている。国が定期接種として判断した際には、助成を実施したいと考えている。

警察署の再編について

【質問】2026年4月をめどに赤歌署が滝川署に統合される。「市民の安心安全な生活を維持するよう、スムーズな移行に努めてほしい」という畠山市長のコメントがあったが、計画の再考を求めるとの考えはないか伺う。

【答弁】統合するのは効率化と最適化を目指すだけではなく、市民の安全安心な日常生活の維持と向上を目的としている。このことから統合が地域社会へ与える影響を十分考慮され、スムーズな移行に努めてほしいと考えている。

【質問】市民団体などから防犯カメラについての要望があったと思うが、この警察署の再編も踏まえ、北海道に対して支援を求めようかと思うが、考えを伺う。

【答弁】防犯カメラについては、犯罪の抑止、行方不明者の捜索、交通事故の状況確認など様々な効果があると認識している。

新政クラブ



渡部 修之

断水事故の原因究明について

【質問】令和6年2月に若木町に於いて、断水事故が発生し48世帯の住民の生活に支障が出ていました。パイプ工事により通水を確保したようですが、その後の事故の原因、場所の特定や、今後の対策は、どうなっているのか伺う。

【答弁】事故の原因としては、昭和38年に布設された铸铁管の老朽化が原因と思われる。漏水箇所に関しては、おおよその場所は判明したが、地形が複雑で、重機の進入が困難なため、正確な漏水箇所の特定は出来なかつた。市全体の水道管の約50パーセントが耐用年数を経過している。

更新計画に基づき更新作業を進めているが明らかに劣化が進んでいる老朽管は、優先的に更新して対応する。

赤黒のまちづくりについて

【質問】赤黒のまちづくり事業実行委員会を中心に官民あげてイメージカラーの赤黒を活用した、まちづくりを進めるとしているが、何を柱とした政策なのか伺う。

【答弁】コンサドーレとの連携協定を締結し、まちの景観に赤黒を増やし、赤黒の飲食メニューや赤黒に関連した土産物、企業製品を開発して交流人口の拡大を目指すことを政策の柱の一つとします。

モビリティマネジメントの推進について

民主クラブ



若山 武信

高齢者へのエアコン設置費助成について

【質問】現在、市内では様々な団体がゴミ拾い等のボランティア活動をしているが、市内の小・中学生にも参加を要請するべきだと思いが、教育長の見解を伺う。

【答弁】ボランティアとは、自発的に参加することなので、児童生徒に要請することは難しいが、ふるさと少年教室等で集団活動を通じた仲間づくりやボランティア精神を培うことは可能と考えています。

【再々質問】一世帯5万円、5千万円を予算して実現不可能とするのでは

【質問】昨年12月議会で、夏の猛暑対策として「あかびらガンバレ応援基金」を財源とし、住民税非課税高齢者世帯へのエアコン設置費助成の質問をした。その後の検討内容を伺う。

【再々質問】一世帯5万円、5千万円を予算して実現不可能とするのでは

【答弁】エアコン設置にかかる費用は機種によって違い、1台20万円の機種に5万円の助成金設定がどうなのか、現在高騰している電気料金を考えると特に低所得の方には使い控えになることも懸念され、様々な角度から検討していく。

【再々質問】一世帯5万円、5千万円を予算して実現不可能とするのでは

【再質問】昨夏からの突如の猛暑に熱中症の危険も考慮、高齢者の健康対策で救済できればとの考え。対象は65歳以上の高齢者。財源不足なら後期高齢者だけでもと考える。如何か。

【再々質問】一世帯5万円、5千万円を予算して実現不可能とするのでは

【質問】当庁舎にて、カスターマーハラスメントにより特定の職員が標的にされると本人の業務に支障をきたすだけでなく来庁する市民にも影響。現在当市のカスターハラ対策の検討について伺う。

参政党



今野 宙

赤平消防団員の人員確保について

【質問】人員の高齢化や減少が全国でも課題となっている。赤平市として現在行っている対応策、また今後の取り組みとして何かお考えがあるか伺う。

【質問】この4年間を振り返って、明らかになってきたりしている様々なデータがある。当時、ワクチン、マスクなどの安全性や有効性、コロナウイルスの危険性ばかりを政府メディアや一部の専門家が発信していたが、現在、因果関係による死亡や後遺症、副反応などその他、様々な情報が出てきている。世間ではデモや訴訟など

も頻繁に行われており、市民の認識も変わってきていると思うが、赤平市として現在どういった見解、認識なのか伺う。

【答弁】国の基本方針に基づき対応してきたが、令和5年5月に5類感染症となった時点で廃止となった。赤平市では対策本部を設置し、対応を協議しながら情報を伝えてきた。特にワクチン接種は強制ではないこと、感染者や接種の有無で偏見や差別があつてはならないことを丁寧に伝えてきた。国、道の行動計画改定を踏まえながら、見直しを進める。

【質問】最新の情報や新たなレプリコンワクチンに対して有効性や副作用について偏りのない情報、現状をしっかりと伝えたい。えで判断してもらおう事が、市民の健康や命を守る為に必要ではないかと考えるが見解を伺う。

【答弁】ワクチンには必ずレプリコンワクチンがある。全てのワクチンで共通だが、それを理解した上で接種の判断をしていただくことが大切だと

公明党



丸山 勝正

考えている。レプリコンワクチンに限らず、有効性、副反応については、国の通知等の科学的知見なども含め、市民への情報提供に努めていく。

歯科健診について

【質問】日本歯科医師会が提唱する成人歯科健康診査『生活歯援プログラム』の活用について伺う。

【答弁】市では妊娠期から高齢者までライフステージに依り、歯科衛生士と管理栄養士が中心となり、虫歯や歯周病予防だけでなく、日頃の食習慣や口腔衛生に対する啓発、相談支援など予防活動に取り組んでいるが、働き盛り世代に向けた取組の充実が課題であり『生活歯援プログラム』は忙しい方にもセルフチェックによる自身の口腔状態・口腔衛生に対する意識付

けとして有効であり、今後周知活用に向けて検討したい。

【質問】旧赤平中央中学校跡地について体育館は除却されているが校舎は閉校6年を経過しているが除却されていない。街の中心部に位置しており市の今後の計画を伺う。

【答弁】グラウンド部分を含めた敷地の活用については現時点で具体的な計画を持ち合わせていないが早期に除却しなければならぬとの認識は持つており、引き続き検討する。

【再質問】市民のために計画の練り直し、必要な複合施設をつくる、あるいは民間を誘致する考えはあるか。

【答弁】『公共施設管理計画等マネジメント会議』を今年度に再開し整合性を図りながら、計画の練り直しに取り組む。あかびら市立病院や商業施設、飲食店などが近接し立地条件が良いことから更新時期を迎える公共施設等

新政クラブ



北市 勲

市役所の機構見直しの進捗状況について

【質問】機構見直しは行政需要の多様化、複雑化などの対応や、市民の利便性の向上も図りながら、一方では人口動勢を考慮し組織のスリム化も検討する必要がある、優先順位をつけて行財政改革推進室の中で議論を進めており、機構見直しの具体的な内容や実施時期については、まとまり次第示されることですが、どの程度議論が進んでいるのか、進捗状況について伺う

【答弁】機構の見直しについて昨年は3回、今年度も2回会議を開催し議論を重ねてきました。機構改革を行うためにどの様に進めていくべきか、また、業務を効率的に行うためにどの様なことが想定されるのか更に議論



熊の被害回避対策について

【質問】熊の被害回避対策として、鳥獣被害防止特別措置法に基づく「鳥獣被害対策実施隊」の設置等、猟友会との関係はどの様な状況か伺う。

【答弁】「鳥獣被害対策実施隊」は設置済みであり、猟友会には、市民の安心安全な暮らしを守る活動にも協力頂いている。費用の助成について、他の市町の状況を見てどの様に考えるか伺う。

【答弁】他の自治体ではパトロール出動回数や捕獲数に応じて対応しているが、当市では委託料として予算計上しており、今後も引き続き猟友会と意見交換に努めていく。

の移転先の候補地として、あるいは広大な敷地を希望する企業への譲渡も含めて研究する必要がある、有効な活用方法について検討を重ねながら今後の計画を進める。

エルム高原のイベントについて

【質問】エルム高原リゾートで9月21・22日開催予定のアカピラ・キャンプ・ブレイクは民間活用成功事例と思うがどうか。

【答弁】市は後援としてポスター・チラシの設置、物品・資材など地元に関わるものについて協力、振興公社と連携しボランティアを募るなどイベントに協力。札幌・旭川からの動員が多いが、市民の方にもエルム高原のイベントを楽しんでいただきたい。

新政クラブ



安藤 繁

を行っております。

市立病院医療従事者の待遇改善について

【質問】2024年度の診療報酬改定は医療従事者の待遇改善の原資の確保を目的とした改定であり、あかびら市立病院における待遇改善について、は予定年間患者数から診察料や入院基本料の増収分は凡そ予測出来ることから、どの様な待遇改善を考えておられるのか伺う。

【答弁】対象となる医療従事職員は120名で『ベースアップ評価料』として入院・外来合わせて約1441万円程見込まれます。給与改定については労使交渉により決定される。

不登校児童・生徒の健康診断について

【質問】学校に在籍する児童・生徒の疾病の有無及び将来の疾病予防のため健康診断は医師による健康診断、歯科医師による歯科検診、薬剤師に

自転車事故被害の軽減対策について

【質問】昨年の道路交通法改正により、自転車運転中のヘルメット着用が努力義務とされた。他の自治体ではヘルメットの購入費を助成している所がある。事故被害の軽減のため市も助成してはどうか。

特に、小・中学生は、自転車の利用頻度が多く、安全確保の上からも購入費を全額補助してはどうか伺う。

【答弁】交通安全運動推進計画では、ヘルメットの着用や自転車損害賠償保険等の加入の広報・啓発活動を推進している。ヘルメットの必要性は十分承知しているが、着用購入費の助成については現段階で明確な考えは持ち合わせていない。

赤平市のまちづくりについて

【質問】「赤黒のまちづくり事業」について、市がリーダーシップを発揮

よる尿検査などで定期的実施されておりませんが不登校児童・生徒の健康管理について伺う。

【答弁】不登校児童・生徒の健康診断は未受診のまま経過している。

【質問】未受診の解決にどの様な対応をしているのか伺う。

【答弁】未受診の児童・生徒には個別に受診出来る体制づくりは必要かと思いません。それに向けて学校医、学校歯科医、学校薬剤師等と連携を図りながら検討する。

して観光施設や公共施設を赤黒イメージの塗装等をして、民間にインパクトを与え、新しいまちづくりに巻き込んで行く等、本気度を見せる取り組みが必要と思うが考えを伺う。

【答弁】「赤黒のまちづくり事業実行委員会」でポスターや交通安全旗等赤黒のデザインで製作中であり、民間で店舗や物置を赤黒にした所もある。今後、「赤黒トークショー」開催や北海道コンサドーレ札幌とまちづくり連携協定に調印予定である。また、観光施設や公共施設の塗装等は、イメージを損なわない様に配慮し出来る所から取り組む。

【質問】企業等の迅速な商品開発促進の為、財源支援策として「赤黒の特産品開発奨励事業助成制度」(仮称)の新設の考えはないか伺う。

【答弁】今後、市民・団体・企業を巻き込みながら事業展開を進め、現行以上の制度が必要と判断した際には、財政状況を考慮しながら、出来る範囲で制度設計をする。



議会の動き

かわら版 第72号 議会の動き (令和6年8月号)

- 4/10 北海道市議会議長会春季道央支部協議会 (赤平市)
- 4/23 第87回北海道市議会議長会定期総会 (苫小牧市)
- 4/25 行政常任委員会
 - ・赤平市地域公共交通活性化協議会の事業報告について
 - ・赤黒のまちづくり事業実行委員会について
- 5/9 議会改革検討協議会
- 5/14 議会運営委員会
 - ” 全国自治体病院経営都市議会協議会第52回定期総会 (東京都)
- 5/17 赤平市議会第2回臨時会
- 5/22 全国市議会議長会第100回定期総会 (東京都)
- 5/23 市議会議員共済会第128回代議員会 (東京都)
- 6/14 議会運営委員会
 - ” 議会改革検討協議会

- 6/18 赤平市議会第2回定例会 (21日まで)
 - ” 議会運営委員会
- 6/19 行政常任委員会
 - ・議案第100号 赤平市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について
 - ・議案第101号 赤平市国民健康保険条例の一部改正について
 - ・炭鉱遺産活用基本構想に関する住民説明会について
- 6/24 空知教育センター組合議会第1回臨時会 (滝川市)
- 7/4 根室本線対策協議会総会 (富良野市)
- 7/22 滝川地区広域消防事務組合第1回臨時会 (滝川市)

◎意見書4件可決

全会一致で2件

- ※令和6年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ※生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書

賛成多数で2件

- ※地方財政の充実・強化に関する意見書
- ※義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

※各議案に対する賛否は赤平市議会ホームページに掲載されています

編集後記

買物に行くのと物価高にびくり、本人のみならず財布自らも嘆いていることでしょう。市民の悲鳴があちこちで聞こえており、国の物価高騰対策が急がれます。コロナ禍が落ち着いてきたかと思うと昨夏は猛暑でした。今年の夏はもつと猛暑とのこと。高齢者の熱中症対策が大切。非課税世帯へのエアコン設置対策に加え、エアコン設置の公共施設クーリングシェルター(避難所)の検討も併せて必要かと思えます。

私たち議員は市民のいろいろな意見を議場で反映しており、議会報告会だけでなく、より意見が出やすいカフエ議会への工夫も検討しております。

新人議員も一生懸命頑張っておりますので、ぜひ傍聴にいらしてください、お待ちいたしております。

(若山)

かわら版編集委員会

委員長

- 木村 恵
- 安藤 繁
- 今野 宙
- 丸山 勝
- 若山 正
- 渡部 修之

※このかわら版に関するお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858までお願いいたします。